令和２年度　　社会福祉法人　泉佐野市社会福祉協議会

**事　業　報　告　書**

　本年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受けた1年となった。感染拡大の影響で顕在化した生活困窮の相談窓口として、新型コロナウイルス感染症特例貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の相談・申請受付や生活困窮者自立支援機関としての支援を行った。

また感染拡大防止のため、予定していた多くの会議、事業が中止延期となった。

　本年度より市民にとって身近な相談窓口となる地域型包括支援センターしんいけを受託し、高齢・障がい・生活困窮・母子・自殺対策等、世帯全体の複合化・複雑化した課題を包括的に受け止める窓口を設置した。10月からは市内全域に地域型包括支援センターが設置され、本会は受託した基幹包括支援センターいずみさのとして、各地域型包括支援センターと連携を図りながら総合相談支援体制の整備に取り組んだ。

　地域活動支援については、コロナ禍において人が集まることが困難な状況が続いたが、第2層生活支援コーディネーターを1名増員し、各地区担当職員の配置により、感染症対策や代替プログラム、ICTツールの導入の工夫をしながら、地区福祉委員会等住民主体の支えあい活動推進の支援に取り組んだ。

　ボランティアセンター事業については、ボランティアフェスティバル、チャリティバザー・ボッチャ交流会を感染拡大防止のため中止とし、ふれあいクリスマス会については、プレゼントのお渡し会にする等プログラムを変更しての実施となった。

　日常生活自立支援事業については、知的・精神障がい者の利用者が多く、長期的な契約となるケースが増加している。

　地域の実情に合わせた自主的な福祉活動の計画的実施のため、自主財源確保として、引き続き会員会費募集・赤い羽根共同募金・歳末助け合い運動に努めた。

　泉佐野市民生委員児童委員協議会の運営については引き続き連携を密に事務局として支援を行った。

　高齢者・障がい者を含め誰もが安心して暮らせる共生社会の実現に向けて、関係者・関係機関と連携し以下の通り地域福祉活動を推進した。

**〔１〕法人運営関係**

　　　　法人の運営を円滑にするため下記の会議、研修会を開催した。

　　　　　（1）定例理事会の開催　　　　　　　　　　　　　　　 　　　９回

　　　　　（2）三役会の実施 ２回

　　　　　（3）定例評議員会の開催（書面決議含む） ４回

　　　　　（4）監査の実施 １回

　　　　　（5）評議員選任・解任委員会の開催 ３回

　　　　　（6）理事・監事・職員合同研修の実施 １回

開催日　／　令和2年8月29日（土）

内　容　／　災害ボランティアセンター設置模擬訓練

場　所　／　社会福祉センター　大会議室、外ガレージ

参加者　／　役職員　　21名

**〔２〕地域福祉事業の推進**

平成7年度より取り組んでいる『小地域ネットワーク活動』は市内すべての地区で一人暮らし高齢者や高齢者・障がい者世帯等への個別支援活動や、町内会館等でのふれあいいきいきサロン活動や子育てサロン、世代間交流会などが開催されていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策を行い小規模での開催がされた。

平成25年度から継続して行っている「地域の暮らしを話す会」についても、新型コロナウイルス感染拡大の影響により感染対策を行い小規模で開催された地区や、書面により開催された地区、中止の判断をされた地区があった。

１．小地域ネットワーク活動地区の指定

　　　　　　 　《 ７年度～》 （1） 日新地区福祉委員会連合会・・ 〔4支部〕

 （2） 佐野台地区福祉委員会・・・〔4支部〕

 （3） 北中地区福祉委員会・・・〔3支部〕

 （4） 三小地区福祉委員会・・・〔3支部〕

 （5） 末広地区福祉委員会・・・〔6支部〕

 《 8年度～》 （6） 一小地区福祉委員会・・・〔8支部〕

 《 9年度～》 （7） 長滝地区福祉委員会・・・〔5支部〕

 《10年度～》 （8） 上之郷地区福祉委員会・・・〔7支部〕

 《11年度～》 （9） 大土地区福祉委員会・・・〔2支部〕

 《12年度～》 （10）長坂地区福祉委員会・・・〔8支部〕

 《13年度～》 （11）日根野地区福祉委員会・・・〔9支部〕

　 《14年度～》 （12）南中地区福祉委員会・・・〔4支部〕

 （13）中央地区福祉委員会・・・〔6支部〕

　 《15年度～》 （14）二小地区福祉委員会・・・〔9支部〕

２．連絡会の開催

（1） 地区福祉委員会連絡会の開催 ４回

（2） 支部連絡会の開催　 １回 （二日間に分けて開催）

　３．研修会・講座等の開催

　　　　　（1） 子育てサロン実施地区研修会・連絡会

　　　　　　　　　　開催日　／　令和2年12月22日（火）

　内　容　／　インスタグラム操作体験講座、リモート体験講座　等

参加者　／　１６名（福祉委員会、スマイルサポーター等）

（2） 小地域ネットワーク活動報告集会の開催

新型コロナウイルス感染拡大の為、中止

令和2年度泉佐野市小地域ネットワーク活動報告書を作成し、配布。

（3） 地域広報誌研修会

　　　　　　　　　　開催日　／　令和2年9月30日（水）

　内　容　／　地域広報誌」の意義と重要性、作り方のポイント紹介　等

参加者　／　２４名（福祉委員会、民生委員児童委員　他）

（4） 小地域を支えるボランティア講座

 　より市民に近いところで開催できるように、出張講座として行えるようにメニ　　　ュー表の整備などを行った。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 日時 | 地区 | 内容 |
| 6月25日(日) | 笠松町支部 | 福祉委員会活動について |
| 7月12日(日) | 東羽倉崎南町支部 | 福祉委員会活動について |
| 9月11日(日) | 日根野地区 | 福祉委員会活動について |
| 3月11日(木) | 旭町支部 | タブレット操作体験講座 |

（5） 学校における福祉教育への協力

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 日時 | 学校 | 対象 | 内容 |
| 10月29日(木) | 上之郷小学校 | 小学3年生 | 車いす体験 |
| 10月29日(木) | 長南中学校 | 中学1年生 | さをり織り体験を通じて、他己紹介をしよう！ |
| 11月 4日(水) |
| 11月12日(木) |
| 11月17日(火) |
| 11月26日(木) | 第三小学校 | 小学1～6年生 | アイマスク体験・車いす体験・認知症キッズサポーター養成講座 |
| 2月18日(木) | 長南小学校 | 小学3年生 | ・高齢者疑似体験・人にやさしい町づくりのために「わたしたちにできることは何だろう？」について考えよう |
| 2月10日(水) |
| 2月11日(木) |
| 3月 4日(木) | 日根野小学校 | 小学4年生 | 車いす体験 |

４．小地域ネットワーク活動の実績

　　　《個別訪問活動》

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 項目支部 | ﾈｯﾄ数(世帯) | 月1回以上の定期的な訪問 | 延べ訪問回数（回） | 延べ訪問人数（人） | 登録協力員数 |
| 65歳以上独居高齢者 | 65歳以上高齢者世帯 | その他障がい者他 |
| 日新地区 | 188 | 183 | 0 | 5 | 2,210 | 5,662 | 60 |
| 佐野台地区 | 247 | 183　 | 56　　　 | 8 | 10,193 | 18,439 | 113 |
| 北中地区 | 273 | 272 | 0 | 1 | 3,372 | 5,728 | 70 |
| 三小地区 | 93 | 88 | 2 | 3 | 1,877 | 3,573 | 72 |
| 末広地区 | 62 | 59 | 2 | 1 | 1,209 | 2,546 | 88 |
| 一小地区 | 164 | 160 | 2 | 2 | 2,646 | 4,153 | 160 |
| 長滝地区 | 79 | 69 | 2 | 8 | 1,771 | 4,059 | 87 |
| 項目支部 | ﾈｯﾄ数(世帯) | 月1回以上の定期的な訪問 | 延べ訪問回数（回） | 延べ訪問人数（人） | 登録協力員数 |
| 65歳以上独居高齢者 | 65歳以上高齢者世帯 | その他障がい者他 |
| 上之郷地区 | 62 | 55 | 7 | 0 | 936 | 1,043 | 93 |
| 大土地区 | 43 | 39 | 4 | 0 | 516 | 846 | 51 |
| 長坂地区 | 273 | 230 | 32 | 11 | 4,472 | 9,181 | 154 |
| 日根野地区 | 183 | 167 | 16 | 0 | 2,644 | 3,843 | 212 |
| 南中地区 | 149 | 149 | 0 | 0 | 1,948 | 3,953 | 75 |
| 中央地区 | 205 | 203 | 1 | 1 | 2,582 | 7,619 | 99 |
| 二小地区 | 173 | 160 | 10 | 3 | 2,134 | 3,562 | 136 |
| 合　計 | 2,194 | 2,017 | 134 | 43 | 38,510 | 74,207 | 1,470 |

　《グループ支援活動》

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 項目支部 | 実施回数(計) | グループ支援活動内訳 | 参加者内訳 |
| いきいきｻﾛﾝ | 世代間交流会 | 子育てサロン | 対象者 | 関係者 |
| 日新地区 | 136 回 | 132 回 | 0 回 | 4 回 | 1,538名 | 214名 |
| 佐野台地区 | 79 回 | 76 回 | 3 回 | 0 回 | 1,527名 | 508名 |
| 北中地区 | 4 回 | 4 回 | 0 回 | 0 回 | 185名 | 25名 |
| 三小地区 | 7 回 | 3 回 | 1 回 | 3 回 | 132名 | 61名 |
| 末広地区 | 36 回 | 36 回 | 0 回 | 0 回 | 794名 | 220名 |
| 一小地区 | 404回 | 385 回 | 0 回 | 19 回 | 6,505名 | 1,860名 |
| 長滝地区 | 35回 | 27 回 | 5 回 | 3 回 | 531名 | 210名 |
| 上之郷地区 | 24 回 | 18 回 | 0 回 | 6 回 | 288名 | 126名 |
| 大土地区 | 7 回 | 5 回 | 2 回 | 0 回 | 290名 | 30名 |
| 長坂地区 | 436 回 | 434 回 | 2 回 | 0 回 | 3,108名 | 1,412名 |
| 日根野地区 | 124 回 | 112 回 | 6 回 | 6 回 | 991名 | 345名 |
| 南中地区 | 3 回 | 3 回 | 0 回 | 0 回 | 39名 | 28名 |
| 中央地区 | 66 回 | 51 回 | 5 回 | 10 回 | 298名 | 117名 |
| 二小地区 | 74 回 | 52 回 | 10 回 | 12 回 | 956名 | 424名 |
| 合　計 | 1,435 回 | 1,338 回 | 34 回 | 63 回 | 17,182名 | 5,580名 |

　　５．地域の暮らしを話す会の実施

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 地区 | 日　時 | 場　所 | 人数 |
| 日　新 | 12月14日（月） | 18:10～ | ホテルニューユタカ | 52 | 名 |
| 佐野台 | 10月11日（日） | 15:10～ | 佐野台集会所 | 20 | 名 |
| 北　中 | 中止 |  |  |  |  |
| 三　小 | 中止 |  |  |  |  |
| 末　広 | 11月20日（金） | 19:30～ | 東羽倉崎南町集会所 | 16 | 名 |
| 一　小 | 3月19日（金） | 19:00～ | 元町会館 | 23　 | 名 |
| 地区 | 日　時 | 場　所 | 人数 |
| 長　滝 | 2月15日（月） | 13:30～ | 長滝第一町内会館 | 30　 | 名 |
| 3月24日（水） | 14:30～ | 30 | 名 |
| 上之郷 | 中止 |  |  |  |  |
| 大　土 | 中止 |  |  |  |  |
| 長　坂 | 中止 |  |  |  |  |
| 日根野 | 書面実施 |  | 支部ごとに回答 |  |  |
| 南　中 | 9月24日（木） | 19:00～ | 南部市民交流センター | 21 | 名 |
| 中　央 | 11月 7日（土) | 10:30～ | 中町町会館 | 8　 | 名 |
| 二　小 | 2月26日（金) | 19:00～ | 高松総合会館 | 11 | 名 |
| 　　　延べ参加者 | 211 | 名 |

　　６．地域福祉活動計画の推進

（1）地域福祉活動計画推進委員会の開催 ２回（内1回は書面開催）

　　７．生活支援体制整備事業

　　　　　平成30年度より第1層生活支援コーディネーターを1名配置、令和元年度には第2層生活支援コーディネーターを2名配置し、令和2年度には第2層生活支援コーディネーターを1名増員し住民による支えあい活動を推進した。

　第1層協議体「泉佐野わいわいの輪」は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、開催できない状態であった。

（1）コミュニティカフェ実施主体連絡会の開催

開催日　／　令和2年12月1日（火）

　参加者　／　２２名

（2）各種会議への参画

地域福祉計画推進審議会・地域福祉活動計画推進委員会、地域福祉計画庁内検　討会議、地区福祉委員会連絡会、社協地区担当者会議、地区担当者連携全体会議、地域の絆づくり担当者会議、CSW連絡会議、医療介護連携事業事務局会議、自立支援型地域ケア会議

（3）生活援助サービス従事者研修の実施

開催日　／　令和3年3月5日・8日・11日【3日間】

　　　　　　午前9時30分～午後2時30分

修了者　／　２２名

８．外出自粛高齢者・障がい者等見守り支援事業交付金の活用

コロナ禍において、要支援者に対して電話等による安否確認や、新たな生活様式に対応したサロン等の活動ができるように地域活動のガイドラインを作成、心身の状況の変化を見守り訪問時に聞き取り調査、感染拡大のリスクを軽減しながらもこれまでのつながりを継続し、孤立防止をすることを目的にICTツールを活用したつながる環境の整備、新たな担い手の獲得を目的とした地域活動の魅力を伝える動画の作成などを行った。

（1）地域のつながり見守り強化事業（電話等による安否確認）

（2）おたがいさまの会会員つながり事業（レター発行）

（3）地域活動ガイドライン作成・配布

（4）子育てサロン参加者声かけ活動（子ども用手作りマスク配布）

（5）ネット対象者聞き取り調査

（6）啓発冊子作成・配布

（7）リモートサロン

（8）インスタミニ講座

（9）活動紹介動画撮影・編集

**〔３〕災害に強い街づくり事業の推進**

　　　　地域福祉活動支援の一環として、必要に応じて情報提供や相談支援を行った。

１．災害時図上訓練用マップの提供　　　　　０地区

２．自主防災会組織等への活動支援・出席等

防災関係相談支援：延69件

　　　　 訓練・会議等出席状況　・・・　新型コロナウイルス感染拡大の影響の為、開催無し。

３． 研修会の開催

（1） 災害に強い街づくり研修会の開催

　　　　　　　　開催日　／　令和3年2月15日（月）～ 3月19日（金）

内　容　／　『災害に強いまち泉佐野』を目指す協働

　　　　　　　　　～地域との連携と事業所の役割～

参加者　／　DVD貸出希望者・・16名、youtube視聴希望者・・31名

youtube視聴回数243回（3月3日時点）

４．災害ボランティア事前登録事業

（1） 事前登録事業　登録者　３５名

（2） 講習会・訓練等の実施

　　　　　　　①大阪880万人訓練の実施

**〔４〕ボランティアセンター事業の推進**

　　　　ボランティアセンター運営委員会により、ボランティアセンターの運営及びボランティア講座やイベントの検討、開催を行った。新規ボランティア発掘のために、新規事業としてボランティア活動説明会を開催した。

　　　　また、5名のボランティアアドバイザーと共に、コロナ禍の中でのボランティア活動の在り方について検討を行った。

１．各種会議の開催

（1）ボランティアセンター運営委員会の開催　　 ４回

（2）ボランティアアドバイザー連絡会の開催　　　　　　 ５回

（3）登録ボランティアグループ連絡会の開催 １回

２．ボランティア活動のコーディネート

（1） 個人登録ボランティア

　新型コロナウイルス感染拡大により、サロン・ド・ボランティアは中止となった。ボランティア活動のコーディネートについては、窓口及び電話にて行った。活動の需給調整は8月～12月の間、再開したが、12月以降は中止となった。本年度、3月末の登録ボランティアは173名、延べ活動人数は184名である。

内訳は表のとおり。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 分野 | 施設名 | 活動内容 | 延べ活動者数 |
| 障がい者（児） | スポーツ教室 | スポーツ介助 | 50名 |
| いいね | ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ補助 | 80名 |
| ルリエ | ﾚｸﾘｴｰｼｮﾝ補助 | 67名 |
| 社　協 | 声のボランティア | 市報朗読 | 130名 |

（2） グループ登録ボランティア

　　　　　　ボランティアグループの育成・支援をするためにボランティアセンターや福祉センターの会議室や機材等の貸し出しを行い、また、社協事業において登録グループに協力を求め、外部からの派遣依頼に対しグループの紹介を行った。3月末の登録ボランティアグループは11グループである。

ボランティアセンターからの活動依頼及び紹介による活動実績は下記のとおり。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| グループ名 | 活動内容 | 活動回数 | 延べ活動者数 |
| リフォームなでしこ | 社協ふれあいｸﾘｽﾏｽ会ﾌﾟﾚｾﾞﾝﾄ制作 | 34回 | 142名 |

３． 講座及び研修会の開催

（1）ボランティア活動説明会

　　 　新規ボランティアの発掘とボランティア活動の啓発を目的としてボランティア活動説明会を2日間開催した。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 開催日 | 場　所 | 内　容 | 参加者数 |
| 9月29日 | 社会福祉ｾﾝﾀｰ２階小会議室 | ボランティアの役割と心構え及びボランティアセンターでの活動について | 2名 |
| 11月18日 | 2名 |

４．居場所と交流機会の提供

（1）サテライト事務所「シャッピーハウス」の開設

新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、貸館利用の各種団体やボランティアグループの活動拠点として、シャッピーハウスの運営を行った。掘り出し市、シャッピー喫茶、チャリティショップに関しては、感染拡大防止のため中止とした。

５．各種行事

（1）障がい児者ふれあい交流会

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボッチャスクールとボッチャ大会の開催が中止となった。

（2）第４２回 社協チャリティバザー

　　　　　　　 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

（3）第４２回 社協ふれあいクリスマス会

障がいをもつ児童や家庭児童相談員や教育委員会が関わっている子どもを対象に開催した。

開 催 日　／　令和2年12月19日（土）

内　　容　／　プレゼント、ケーキの配布

場　　所　／　社会福祉センター2階大会議室

参 加 者 ／　対象児童31名・同伴者43名・ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ18名　合計92名

　　　　（4）第９回 ボランティアフェスティバル

　　　　　　　　新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止となった。

６．善意銀行　寄託・払い出し状況

|  |  |
| --- | --- |
| 寄託件数 | ３７件 　　　 |
| 寄託金額 | １，３７６，８０６円 　　　 |
| 寄託物品 | 食料品、音響一式、車いす、衣料品、手作り品、衛生用品　　　　 |
|  |
| 払い出し件数 | ２　件　　　 |
| 払い出し金 | 1. 社協だより発刊
2. 心配ごと相談事業

合　　計 | 190,000 円 　127,700 円 　317,700 円 |

**〔５〕総合相談事業の推進**

　　『心配ごと相談所』の相談実績は以下のとおりで、内容に応じて関係機関等と連携し、問題解決の調整を行った。

１．心配ごと相談所の開設

　　　　　　　相談員数　 １４名

　　　　　　　開設延日数 ３０日（うち出張相談2日）

　　　　　　　出席延相談員数 ６７名（うち出張相談13名）

　　　　 　相談者数 １４名（うち出張相談7名）

　　　　　　　相談件数 １３件（うち出張相談6件）

　　　　　　　相談員連絡会議 ２回

　　　　　　　出張相談 9月18日(金)　 相談員6名

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　10月23日(金)　相談員7名

　　　　　　　 いこらも～る泉佐野

　　　　　※相談状況

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 内容対象者 | 家族関係 | 他の人間関係 | 病　気 | 仕　事 | 法　律 | 金銭関係 | その他 | 計 |
| 高齢者 | 4 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 5 |
| 障がい者 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 1 | 2 |
| 子育て中の親 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| その他 | 1 | 1 | 0 | 0 | 2 | 1 | 1 | 6 |
| **計** | **5** | **1** | **0** | **1** | **3** | **1** | **2** | **13** |

※対応

　　　　　　　　傾聴　　　　　２件

　　　　　　　　助言　　　　　４件

他機関紹介　　７件（地域包括支援センターしんいけ1件、法テラス1件、市

法律相談1件、市司法書士相談1件、市行政書士相談1

件、泉佐野警察書1件、市学校教育課1件、市家庭児童

相談室1件）

**〔６〕コミュニティソーシャルワーカー（ＣＳＷ）事業の推進**

　　　　本年度よりCSWの委託方法が変更され、10月から各地域型包括支援センターに機能統合されることに伴い、今年度は移行にむけての支援を行った。また、それにあわせて個別相談の集計方法も変更されたことに伴い、個別相談実績は減少している。

１．各種会議の開催　※令和2年9月末まで

（1）管理者担当者合同連絡会の開催　　　　　　 　１回

（2）ＣＳＷ連絡会議の開催　　　　　　　　　 ６回

２．新池圏域CSW分活動実績（個別相談）

（1）対象者別

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談対象者 | 延べ件数 | 実件数 |
| 高齢者 |  | 3 | 1 |
|  | 1人暮らし | 3 | 1 |
| 高齢者のみ世帯 | 0 | 0 |
| その他高齢者 | 0 | 0 |
| 障がい者 |  | 6 | 2 |
|  | 身体障がい者 | 0 | 0 |
|  | 知的障がい者 | 0 | 0 |
|  | 精神障がい者 | 6 | 2 |
| 子育て中の親子 | 7 | 5 |
| 一人親家庭の親子 | 33 | 7 |
| 青少年 | 0 | 0 |
| ＤＶ被害者 | 0 | 0 |
| 相談対象者 | 延べ件数 | 実件数 |
| ホームレス | 0 | 0 |
| 外国人（中国帰国者を含む） | 0 | 0 |
| その他 |  | 11 | 5 |
|  | 低収入（無職含む） | 3 | 3 |
| 引きこもり | 1 | 1 |
| 障がい疑い（疾病疑い） | 7 | 1 |
| ＤＶ加害者、虐待 | 0 | 0 |
| その他 | 0 | 0 |
| 合　計 | 60 | 20 |

（2）相談内容別

|  |  |
| --- | --- |
| 相談内容 | 対応延べ件数 |
| 福祉制度・サービスに関する相談 | 68 |
| 生活に関する身近な相談 | 20 |
| 健康・医療に関する相談 | 6 |
| 生活費に関する相談 | 24 |
| 就労に関する相談 | 2 |
| 財産管理・権利擁護に関する相談 | 0 |
| 多重債務に関する相談 | 0 |
| ＤＶ・虐待に関する相談 | 0 |
| 地域福祉・ボランティアに関する相談 | 0 |
| 住宅に関する相談 | 1 |
| 子育て・子どもの教育に関する相談 | 4 |
| その他 |  | 1 |
|  | 近隣トラブル（人間関係） | 0 |
| 家族関係 | 0 |
| その他 | 1 |
| 合　計 | 　126 |

**〔７〕在宅福祉活動の推進**

　　公的サービスで支援できない在宅要援護者の生活上の困りごとを支援するために、『有償協力員派遣事業』（おたがいさまの会）を行い、病院の通院付添いや、入院時の買物・洗濯などの支援、墓掃除など多様なニーズに対して支援を行った。

その他、外出困難な高齢者や障がい者等に対して『福祉車両』及び『車椅子』の貸し出しを行った。

１．有償協力員派遣事業「おたがいさまの会」

（1）会員の登録状況　　　協力会員　／　２１名　　　　利用会員　／　３０名

　　　　（2）支援状況　　　 延べ１９１時間

　　　　（3）協力員連絡会の開催　　　 ２回

　　　　（4）運営委員会の開催 　　 １回

　　　　（5）説明会の開催　　　　　　 ０回

※新型コロナウイルス感染拡大の影響により説明会は実施せず、地域へ広報を行った。

２．福祉車両貸し出し

　　　　　　　利用者数　　　４名　／　貸出回数　　延べ１６回

３．車椅子貸し出し

　　　　　　　利用者数　　１５名　／　貸出回数　　延べ３７回

**〔８〕高齢者世帯への支援**〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

「高齢者が安心して地域で生活を送ることができる」ことを目的に活動してきた地域包括支援センターは、昨年度から複合課題や全ての世代を対象として受け止める総合相談窓口を持つ基幹包括支援センターとして、関係各部署と連携しながら問題共有や解決に取り組んできた。10月以降は各生活圏域に拠点をもつ地域型包括支援センターに総合相談窓口を引継ぎ、地域型包括支援センターの後方支援を行った。新池中学校圏域は4月から「包括支援センターしんいけ」として社協が受託した。

新型コロナウイルス感染拡大で、地域からの出張講座の希望も少なく、高齢者・家族を支援する地域の多職種、関係機関との会議や研修を従来のようにはできなかったが、新たにICTを活用した方法で関係機関とは実施することができた。

認知症施策総合推進事業も、開催事業所への後方支援や、依頼数は少なかったが安全・安心に生活できるよう認知症サポーターを養成し、徘徊者を発見するシステム徘徊ＳＯＳネットワークの南泉州圏域に参画した。初期集中支援チーム事業として医療・福祉の専門職種のチームを組み早期発見・治療の推進や相談は実施した。

今後も新型コロナウイルス感染防止による新しい生活様式が続く中、介護予防・認知症予防・健康づくりに取り組むとともに、市域全体の地域支援の体制整備の充実を進めるため、コロナ禍でも対応できる地域・リハ職とともに新たな取り組みの準備を行う。

１．支援の基盤整備

（1）高齢者虐待防止活動

　　　　　　　 高齢者虐待通報への対応件数　 ４９件（うち「虐待あり」判断数21件）

（2）在宅医療・介護連携推進事業

参加機関　　１２機関

①代表者会議　　　　　　　　　　１回

②事務局会議　　　　　　　　　１１回

③介護施設訪問5か所・医療機関訪問3か所

④地域住民への普及啓発

泉佐野市版エンディングノート（メッセージノート）の改訂と広報誌への掲載・さのテレ（メッセージノートの紹介）の放映

⑤泉州南圏域医療・介護連携推進会議に参加

２．総合相談・権利擁護

（1）相談状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  |  いずみさの | しんいけ |
| 相談実人数 | 503名 | 182名 |
| 相談延べ件数（対応回数） | 2,932件 | 2,150件 |
| 　相談形態内訳 | 訪問 | 666件 | 600件 |
| 　 | 来所面接 | 352件 | 202件 |
| 　 | 電話 | 1,914件 | 1,348件 |

（2）相談内容

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相　談　内　容 | いずみさの | しんいけ |
| 介護保険関係　　　　 | 介護保険制度 | 257 | 315 |
| ケアプラン | 217 | 266 |
| サービス | 668 | 483 |
| 施設入所 | 58 | 200 |
| 介護保険関係以外の　　　　福祉サービス | 緊急通報装置など(福祉制度) | 96 | 85 |
| ボランティアなど(制度外) | 53 | 29 |
| 医療・保健相談　　 | 保健予防 | 6 | 14 |
| 入退院など（医療） | 441 | 463 |
| 家庭介護・介護者支援　　　　　　 | 認知症 | 601 | 560 |
| 身体介護 | 10 | 0 |
| 精神介護 | 73 | 312 |
| 家庭環境 | 472 | 350 |
| 権利擁護　　　 | 成年後見制度など | 154 | 139 |
| 財産・経済問題など | 253 | 125 |
| 虐待関係 | 670 | 213 |
| その他 | 0 | 0 |
| その他生活上の相談　　 | 社会生活など | 269 | 47 |
| 他 | 224 | 25 |
| 　合　計 | 　 | 4,522 | 3,626 |

（3）ブランチ型総合相談業務

　　　　　 委託事業所　５か所　　　　　年間相談件数　　８４件

・犬鳴在宅介護支援センター　　　　　　・在宅介護支援センター　泉ヶ丘園

・在宅介護支援センター　ホライズン　　・在宅介護支援センター　和

・ラポート在宅介護支援センター

　　　　　　 活動内容　　高齢者の相談窓口　　虐待・対応困難事例の支援

地域包括ケア会議・高齢者虐待防止ネットワーク会議への参加

３．包括的・継続的ケアマネジメント

（1）介護支援専門員に対する支援

ケアマネジャー支援件数　いずみさの　1,010件、　しんいけ　607件

　（相談内容）

|  |  |
| --- | --- |
| 支援数 | 支援内訳（延べ） |
| ケアマネジメント | 社会資源紹介 | 主治医連携 | 虐待防止 | その他 |
| いずみさの | 1,010 | 628 | 103 | 41 | 70 | 191 |
| しんいけ | 607 | 489 | 70 | 23 | 57 | 211 |

（2）事業所向け研修会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 内　容 | 参加者数 |
| 1月14日(木) | 事例検討会 | 13名 |
| 2月19日(金) | 法定外研修「高齢者虐待防止にむけて」 | 36名 |

（3）介護支援専門員連絡会活動支援

総会　中止　　　　　　幹事会　3回　うちzoom開催2回

６市町村ケアマネジャー合同連絡会　　書面開催

４．介護予防マネジメント

　　　　　　要支援者・事業対象者に対するケアマネジメント

　　　　　　（1）いずみさの　 介護予防サービス計画作成数　　　５，２１８件

　　　　　　　　　　（内訳）　包括作成　16件　　 委託件数　5,202件

　　　　　　（2）しんいけ　　 介護予防ケアマネジメント作成数　２，４５３件

　　　　　　　　　　（内訳）　包括作成　210件　　委託件数　2,243件

５．出張講座・介護予防教室等

（1）介護予防・認知症などに関する出張講座

　４回実施　　　延べ７６名

（2）介護予防教室

　　　　　　　　開催日　／　令和2年8月28日（金）午前10時～12時00分

　　　　　　　　場　所　／　日根野公民館

　　　　　　　　内　容　／　講演「健康寿命を延ばすためのフレイル予防と対処法」

　　　　　　　　　　　　講師　保健師　大崎・主任ケアマネジャー　平山

参加者　／　７名

６．認知症施策総合推進事業

　　　　（1）介護者家族のつどい

　　　　　　 ６回中新型コロナウイルス感染拡大防止のため1回中止 申込者4名、参加者0名

（2）認知症ケアパスの普及、活用

　　　　（3）認知症サポーター養成講座

・開催回数　８回　　養成サポーター数　193名受講（オレンジリング185名配布）

　R2年度末　延べ ７，１０６名受講（オレンジリング6,740名配布）

うち、キッズサポーター養成講座（第三小学校）　４２名

　　　　（4）徘徊ＳＯＳネットワーク事業

　　　　　　・泉州圏域市町村徘徊高齢者等ネットワーク会議への参画

・事業普及啓発のチラシ配布

・徘徊SOSネットワーク発信　泉佐野市民0件　他市27件

（5）初期集中支援チーム事業

　　　　　　・事業の周知

　　　　　 ・支援対象者４名　チーム員会議６回開催　自宅訪問８回実施

（6）WAOいずみさの　　　新型コロナウイルス感染拡大防止により未実施

７．介護支援サポーター事業

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 登録申請者数 | 登録者数 | 活動人数（実数） | 活動人数（延べ） | 活動回数（延べ） |
| ２名 | ７２名 | ４名 | １１名 | ７２回 |

　　　　（1）介護支援サポーター交流会

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 内　容 | 参加者数 |
| 9月4日(金) | 第１回介護支援サポーター交流会 | １１名(うち2施設2名) |
| 3月1日(月) | 第２回介護支援サポーター交流会 | １３名(うち1施設2名) |

**〔９〕障がい者世帯への支援**〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

「障がい者（児）とその家族等が安心して地域で生活を送ることができる」ように様々な活動をしてきた基幹相談支援センターは、８０５０問題などの複合課題や全ての世代を対象として受け止める総合相談窓口を持つ基幹包括支援センターとして、関係各部署と連携しながら問題共有や解決に取り組み、10月以降は各生活圏域に拠点をもつ地域型包括支援センターに総合相談窓口を引継ぎ地域型包括支援センターの後方支援を行った。

また総合相談を通じて上がってくる地域課題や、専門相談機関との連携については自立支援協議会の専門部会で取り上げ、地域づくり資源開発の取り組みにつなげるように図った。

１．基幹相談支援センター業務

（1）総合相談とスクリーニング機能

身体障がい、知的障がい及び精神障がい等に対応した総合相談窓口の設置並びに特定相談支援事業所及び一般相談支援事業所への適切なつなぎを行った。

●相談状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | いずみさの | しんいけ |
| 相談実人数  | 239名 | 47名 |
| 相談延べ件数 | 6,293件 | 1,660件 |
| 相談形態内訳 | 訪問 | 302件 | 72件 |
| 来所面接 | 140件 | 85件 |
|  | いずみさの | しんいけ |
| 相談形態内訳 | 同行 | 25件 | 33件 |
| 電話 | 1,057件 | 264件 |
| メール | 15件 | 0件 |
| 関係機関連絡調整 | 1,374件 | 321件 |
| 個別支援会議 | 137件 | 15件 |
| その他 | 17件 | 2件 |

●相談内容延べ件数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 相談内容 | いずみさの | しんいけ |
| 福祉サービスの利用等 | 1,419件 | 679件 |
| 障がいや病状の理解 | 765件 |  248件 |
| 健康・医療 | 426件 | 129件 |
| 不安の解消・情緒安定 | 866件 | 75件 |
| 保育・教育 | 87件 | 7件 |
| 家族関係・人間関係 | 659件 | 73件 |
| 家計・経済 | 286件 | 46件 |
| 生活技術 | 14件 | 25件 |
| 就労 | 166件 | 68件 |
| 社会参加・余暇活動 | 99件 | 17件 |
| 権利擁護 | 1,380件 | 287件 |
| その他 | 126件 | 6件 |

（2）相談支援事業所に対する後方支援（専門相談機能）　延べ９００件

（3）自立支援協議会の事務局運営

事務局会議　　　　　　　　　　　　　　　　　６回

専門部会他会議の運営　　　　　　　　　　　　４回

（4）インターバル研修の受け入れ

（5）相談支援体制強化（会議等の参加）

　　　　「泉州地域障害者基幹相談支援センター連絡会」「泉佐野市相談事業連絡会」「ジョブネット泉州南」「泉南ブロック進路指導関係連絡会」「泉南支援学校進路懇談会」

（6）啓発活動

・福祉教育　日根野・上之郷・第３小学校・長南中学校に出張

・各小学校３・４年生に福祉教育本「やさしい気持ち」配布

（7）講師派遣

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 内　容 |
| 11月5日(木) | 民児協障害福祉部会「障害者との接し方・地域を支えるネットワークづくり」 |

２．障がい者虐待防止センター業務

通常業務の他、休日夜間対応の通報ダイヤルを設置し障がい者虐待に関する相談・通報を受付した。

・障がい者虐待通報受理件数　　　　　　　　　　３２件うち虐待あり4件

・障害者虐待会議（レビュー会議）　　　　　　　泉佐野市４回

田尻町０回

３．権利擁護支援センター業務

（1）法律相談　　　　　　　　　　　弁護士による個別相談　 ３３件

（2）市民後見人関係：受任者３名

・受任者の相談、書類提出支援など

・養成講座オリエンテーション広報

４．障害支援区分認定調査業務

障害福祉サービスを利用するために必要とされる支援の度合いを、全国一律の基準に基づき公平性と客観性の観点で調査業務を行った。

（1）調査業務

|  |  |
| --- | --- |
|  | 年間合計 |
| 更新調査数 | 　　　２００ |
| 新規調査数 | 　　　１６９ |
| 区分変更 | 　　　　　８ |
| 合計 | ３７７　　 |
| うち市外（高石以南） | 　　　　４２ |

**〔10〕経済的困窮世帯への支援**〈基幹包括支援センター・包括支援センターしんいけ〉

生活困窮者自立支援事業においては、住居確保給付金の支給要件緩和の影響や新型コロナウイルス感染症特例貸付の実施に伴い、延長申請・再申請時の面談とスクリーニングを担うこととなったため、相談件数が飛躍的に増加した。また、そのような中で外国人住民の社会的孤立などが明らかになったことから、「外国人のための情報交換のつどい」をNPO法人ica、泉佐野市の協力を得て開催した。

10月からは地域型包括支援センターが開設され、個別相談機能については地域型包括支援センターに移行する予定であったが、上記の状況を鑑みて、基幹型包括支援センターにおいても個別支援を継続して行うとともに、12月から3月にかけては支援調整会議の開催数も増やして地域型包括支援センターへの支援も行った。

昨年度実施した就労準備支援講座を通じて、生活困窮者相互の交流による効果が認められたことから、本年度より新たに生きづらさを感じている人への支援事業として、居場所「りれーしょん」を新たに開催した。一方、令和3年1月～3月に開催を予定していた本年度の就労準備支援連続講座に関しては、新型コロナウイルス感染予防の観点から中止したが、連続講座とは別に、就労準備支援の一環として、ひきこもり支援者講座を実施した。

（1）新規相談受付数　　　　　　いずみさの903件・しんいけ　221件

（2）支援調整会議の開催　　 　　22回

（3）就労準備支援講座の開催

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 研　修　会　名 | 参加者数 |
| 10月27日(火) | 「ひきこもりとは？～概論とその支援の実際～」講師：浅井紀久子氏（NPO法人青少年自立支援施設淡路ﾌﾟﾗｯﾂｽﾀｯﾌ） | 39名 |
| 10月30日(金) | 「居場所（生活支援）の大切さ～ひきこもり支援/親支援の現場から～」講師：石田貴裕氏（NPO法人青少年自立支援施設淡路ﾌﾟﾗｯﾂ代表） | 36名 |
| 11月5日(木) | 「ひきこもり当事者の気持ちについて考えてみよう　　～支援・関わりのヒントを求めて～」講師：多田和外氏（NPO法人おおさか若者就労支援機構） | 39名 |

※11月5日開催分は地域自殺対策推進事業として実施。

（4）外国人のための情報交換のつどい

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 内容 | 参加者数 |
| 7月15日 | 第1回”つどい”開催（「せんしゅうプレス」取材） | 25名 |
| 8月20日 | 第2回”つどい”開催 | 10名 |
| 9月17日 | 第3回”つどい”開催（府社協「ふくしおおさか」取材） | 16名 |
| 10月15日 | 第4回”つどい”開催 | 9名 |
| 11月19日 | 第5回”つどい”開催 | 10名 |
| 12月17日 | 第6回”つどい”開催 | 9名 |
| ※のべ参加者数 | 79名 |

（5）出張相談会への参加

　　・6月27日　大阪国際交流財団（OFIX）主催「外国人のための相談会」

**〔11〕子育て世代に対する支援**〈基幹包括支援センター〉

「子育て世代包括支援センター事業」および「母子保健事業」は、産前から子育て世代に関わり、社会的援護を要する家庭の発見・相談・専門機関の紹介などの情報提供を行うとされており、3月末まで受理した妊娠届けの受付・母子健康手帳の交付および保健師による面接は94件であった。

10月から妊娠届の受付・母子健康手帳の交付は市役所での窓口は閉鎖し、生活圏域にある各地域型包括支援センターで行うことになったため、産科医療機関への案内チラシ・ポスターを持っていき説明を行った。

妊娠・出産・産後・子育ての期間を通じて、子育ての相談以外にも経済的な困窮に至る相談など複合的な課題があり支援が必要な人には、保健医療、福祉の関係機関と連絡調整を行ったり、電話・来所・訪問等を行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 来所相談 | 50件 |
| 訪問相談 | 59件 |
| 電話相談 | 113件 |
| 情報収集 | 20件 |
| 関係機関連絡調整 | 184件 |

またホームページを通じて基幹包括支援センターが子育ての相談場所であることの発信を行った。

**〔12〕地域自殺対策強化事業**〈基幹包括支援センター〉

令和元年度より地域自殺対策推進事業では、地域のつながり・支えあいで自殺を防ぐことを目的に、講座・イベント・相談支援等を企画した。

（1）一般市民啓発活動

開催日　／　令和3年3月25日

 　　　場　所　／　いこらも～る泉佐野　１階イベントスペース

 　　　内　容　／　相談窓口の啓発・法律相談

 　　　参加者　／　６２名（相談４件）

（2）支援者養成事業

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 研　修　会　名 | 参加者数 |
| 9月2日(水) | 「自殺企図や自殺念慮の訴えを繰り返す事例への対応を学ぶ」講師：米本重夫氏（よねもと診療所　医師）対象：障がいサービス事業所等 | 25名 |
| 1月29日(金) | 「ゲートキーパー養成研修」講師：泉佐野保健所対象：地域型・基幹型包括支援センター職員 | 17名 |
| 2月24日(水) | 「市民向けゲートキーパー養成研修」講師：泉佐野保健所対象：市民 | 14名 |
| 3月10日(水) | 「アルコール依存症の理解と支援について」講師：和気浩三氏（新生会病院　医師）対象：地域型・基幹型包括支援センター職員・行政職員 | 18名 |

（3）若年層対策事業

※ひきこもり支援者連続講座の一環として実施（再掲）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 研　修　会　名 | 参加者数 |
| 11月5日(木) | 「ひきこもり当事者の気持ちについて考えてみよう　　～支援・関わりのヒントを求めて～」講師：多田和外氏(NPO法人おおさか若者就労支援機構） | 39名 |

（4）相談支援事業

対面相談　５６件　　訪問相談　２１件　　電話相談　１４１件

**〔13〕地域型包括支援センターの支援**

10月から開設された地域型の包括的相談体制構築にむけ、高齢者・障害者・生活困窮者・母子等対象者毎の相談支援の流れや会議・連絡会のフローづくりを市役所地域共生推進課と連携しながら行い、8月～11月にかけて下記のとおり実施した。

|  |  |
| --- | --- |
| 開催日 | 内　容 |
| 8月21日(金)10-12時 | ①「我が事・丸ごと」地域共生社会実現にむけての地域包括支援センターの設計・仕様について②管理者・ADの役割・届出・月報提出について③（高齢者）地域包括支援センター指定介護予防支援業務・1号介護予防支援業務について |
| 9月18日(金)10-12時 | ①（高齢者）地域包括支援センター総合相談・ケアマネ支援について地域包括ケア会議・医療介護連携推進事業について②障がい者総合相談について③子育て包括支援センター（母子保健型）業務について |
| 9月18日(金)13-15時 | 生活困窮者自立支援事業について自立相談支援事業・家計改善事業、生活福祉資金等貸付事業就労準備支援事業・A票 |
| 9月18日(金)15-17時 | 生活困窮者自立支援事業について住居確保給付金事業 |
| 9月25日(金)15-17時 | 高齢者虐待・障害者虐待について（虐待のアセスメント、支援フロー、各様式の記入説明） |
| 11月18日(水)13：30-15時 | 認知症施策推進事業について（初期集中、徘徊SOS、賠償保険、カフェ等）成年後見制度・日常生活自立支援事業について |
| 11月20日(金)13：30-15時 | 地域福祉推進事業関係民生委員・地区福祉委員会・おたがいさまの会などの住民活動について |

また開設後も、地域型包括支援センターの活動状況を把握し、業務が円滑に推進するように各センターからの相談に対し、その内容に応じ、助言、同行訪問、ケースカンファレンス開催、行政機関との調整や地域ケア会議開催等の支援をはじめ、業務毎に連絡会や意見交換会を実施したり、研修会や勉強会を開催し支援した。

月別内容別の地域型包括支援センターの支援数

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 業務区分 | 支援内容 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計 |
| 地域包括 | 高齢者虐待 | 24 | 45 | 48 | 23 | 26 | 19 | 185 |
| 介護予防プラン | 88 | 42 | 21 | 14 | 19 | 10 | 194 |
| 社会資源紹介 | 0 | 7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 支援困難 | 4 | 11 | 34 | 3 | 23 | 23 | 98 |
| 関係機関調整 | 18 | 25 | 6 | 5 | 13 | 7 | 74 |
| 高齢相談その他 | 6 | 13 | 4 | 15 | 10 | 3 | 51 |
| 障害相談 | 障がい者虐待 | 8 | 9 | 7 | 5 | 3 | 3 | 35 |
| ｻｰﾋﾞｽ利用計画等 | 2 | 16 | 8 | 7 | 1 | 1 | 35 |
| 社会資源紹介 | 3 | 7 | 1 | 1 | 0 | 0 | 12 |
| 支援困難 | 4 | 11 | 18 | 16 | 13 | 4 | 66 |
| 関係機関調整 | 8 | 19 | 18 | 17 | 1 | 1 | 64 |
| その他 | 18 | 14 | 3 | 8 | 3 | 4 | 50 |
| 生活困窮 | 支援プラン | 1 | 14 | 13 | 18 | 19 | 11 | 76 |
| 住居確保給付金 | 9 | 14 | 20 | 21 | 30 | 20 | 114 |
| 就労準備支援 | 0 | 2 | 0 | 7 | 3 | 0 | 12 |
| 社会資源紹介 | 1 | 8 | 3 | 4 | 1 | 1 | 18 |
| 統計ｼｽﾃﾑ操作 | 6 | 23 | 10 | 8 | 10 | 12 | 69 |
| 生活困窮その他 | 24 | 10 | 27 | 25 | 35 | 51 | 172 |
| 母子 | 母子手帳受付 | 26 | 15 | 13 | 8 | 6 | 4 | 72 |
| ケース連絡 | 0 | 0 | 0 | 10 | 1 | 0 | 11 |
| 社会資源紹介 | 4 | 5 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 |
| 虐待防止 | 0 | 0 | 1 | 5 | 0 | 0 | 6 |
| 関係機関調整 | 0 | 0 | 1 | 10 | 7 | 5 | 23 |
| 母子その他 | 1 | 4 | 2 | 1 | 3 | 3 | 14 |
| その他 | 届出等法的手続きに関すること | 1 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 3 |
| ｹｱ会議開催支援 | 0 | 3 | 1 | 2 | 1 | 2 | 9 |
| 苦情対応 | 0 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 4 |
| 対人援助 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 4 |
| メンタル支援 | 1 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 6 |
| その他 | 9 | 33 | 13 | 4 | 18 | 8 | 85 |
| 合 計 | 266 | 351 | 273 | 243 | 250 | 195 | 1,578 |

**〔14〕広報宣伝活動の推進と備品の貸し出し**

　　　　社協機関紙「社協だより」を年６回発行し、社協活動をPRするとともにホームページ、ブログにより広く情報提供を行った。また、地域の福祉活動を応援するべく、社協備品の貸し出しを行った。

（1）社協だよりの発行　　年6回（5月・7月・9月・11月・1月・3月）

（2）社協ホームページの運営　　年間閲覧件数　延57,631件

**〔15〕日常生活自立支援事業の推進**

　　　　判断能力の十分でない認知症高齢者や障がいのある方を対象に、契約によって、生活の相談に応じたり、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理等のサービスを行うことで、自立した生活がおくれるよう支援を行っている。

　　　　なお、成年後見等開始の審判市長申立については、市と連携を図っている。

* 契約・活動　件数

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 内　容 | 本事業の利用に関するもの | 合　計 |
| 対象者状況 | 認知症高齢者等 | 知的障がい者等 | 精神障がい者等 |  |
| 活動件数 | 374 |  | 1,096 |  | 1,222 |  | 2,692 |
| 新規契約件数 | 2 |  | 2 |  | 3 |  | 7 |
| 契約件数 | 7 |  | 21 |  | 25 |  | 53 |

**〔16〕社会福祉協議会会員組織の充実と自主財源の強化**

　　　　社協会員会費制度の継続加入を図り、各町内会・福祉委員会他、福祉関係団体の協力を得て、7,563,500円（昨年比＋134,900円）の浄財が寄せられた。そのうちから、地域の福祉活動に利用していただく為、会員会費の50％を還付した。さらに、地区福祉委員会活動に10％還付した。

　　　 協賛会員制度については、310,000円の浄財が寄せられた。

１．各地区・社協会員会費募集状況

 一小地区 １，４８０，０００ 円

 二小地区 ５４０，０００ 円

　　　 三小地区 ６６４，０００ 円

　　 日新地区 １，１９７，５００ 円

　 中央地区 ３９０，０００ 円

 長滝地区 ５９７，０００ 円

 北中地区 ７８６，０００ 円

 南中地区 ２６０，０００ 円

 長坂地区 ３３３，０００ 円

 佐野台地区 ５５６，０００ 円

 上之郷地区 ２５０，０００ 円

 日根野地区 ３００，０００ 円

 末広地区 １２０，０００ 円

 大土地区 ９０，０００ 円

 合　　計 ７，５６３，５００ 円

２．協賛会員会費募集状況 　（１口　１０，０００円）

|  |  |
| --- | --- |
| 泉佐野市長生会連合会 | 社会福祉法人　いちょうの森 |
| 社会福祉法人　光会 | 社会福祉法人　常茂恵会 |
| 社会福祉法人　泉ヶ丘福祉会 | 社会福祉法人　水平会 |
| 社会福祉法人　犬鳴山 | 社会福祉法人　和泉の国 |
| 社会福祉法人　清光会 | 泉佐野地区　保護司会 |
| 社会福祉法人　来友会　 | 社会福祉法人　泉佐野ルーテル福祉会 |
| 社会福祉法人　アムリタ | 社会福祉法人　あおい会 |
| 社会医療法人　栄公会 | 社会福祉法人　杉の子会 |
| 社会福祉法人　日新親友会 | 社会福祉法人　日根野福祉会 |
| 社会福祉法人　清和会 | 社会福祉法人　幸楽会 |
| ＮＰＯ法人　いきいきくらぶ | 泉佐野ロータリークラブ |
| 社会福祉法人　みやび | 土丸町会　 |
| 民生委員児童委員協議会 | 大木町内会 |
| 泉佐野商工会議所 | 大阪いずみ市民生活協同組合 |
| いいね合同会社 | 泉佐野地球交流協会 |
| NPO法人　樹恵会 |  |

**〔17〕共同募金事業の推進**

１．赤い羽根共同募金運動

　　　　　10月1日から12月31日にかけて赤い羽根共同募金運動として広く市民に協力を呼びかけ、戸別募金等を実施した。市内小中学校にも協力を依頼し小学校８校にて児童、生徒による募金活動が行われた。街頭募金については、新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動中止となった。

　　　　　　　　　　募金額　　　2,615,699円（昨年比 ＋11,682円）

２．歳末たすけあい運動

　　　　　“つながりささえあうみんなの地域づくり”のスローガンにもとづき、「歳末たすけあい運動」を実施した。多くの浄財が寄せられ、ひとり暮らし高齢者への見守り支援や児童が書いた年賀状の送付などに配分をし、福祉の増進に役立たせていただいた。

 募金件数　　４２件　　募金額　　1,072,721円（昨年比 ＋145,936円）

 　　　　　　　　　　　払出金額 635,085円

**〔18〕低所得世帯への支援**

低所得者世帯や高齢者・障がい者世帯、生計中心者が失業した世帯等に対して、大阪府生活福祉資金貸付の窓口として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や民生委員を紹介した。

|  |  |
| --- | --- |
| 相談件数 | 　　３５０件 |
|  |
| 貸付種類 | 生活福祉資金(総合支援資金を除く) | 総合支援資金※臨時特例つなぎ資金含む | 緊急小口資金 |
| 申込件数 | １４件 | ７件 | ３件 |
| 申込金額 | 10,751,000円 | 2,940,000円 | 300,000円 |

新型コロナウイルスの影響を受け、減収や失業した世帯等に対し「新型コロナウイルス感染症特例」として相談・申請を受け付けるとともに、必要に応じて生活困窮者自立相談支援機関や基幹包括支援センターとの連携を行った。

|  |  |
| --- | --- |
| 相談件数 | ４，４４４件 |
|  |
| 貸付種類 | 特例貸付緊急小口資金 | 特例貸付総合支援資金 | 特例貸付総合支援資金（延長） | 特例貸付総合支援資金（再貸付） |
| 申込件数 | １，１２８件 | ８７４件 | ３９４件 | ２３５件 |
| 申込金額 | 211,530,000円 | 470,560,000円 | 207,610,000円 | 139,050,000円 |

**〔19〕市立社会福祉センターの管理運営**

　　　　社会福祉センターの管理運営業務を受託し、施設の環境を整備するとともに利用者が快適に利用できるよう、設備機器の保守点検を委託契約した。

　　　　職員研修では、AED取り扱い研修会を実施した。

1. 高齢者・障がい者交流会、研修会の開催

【高齢者・障がい者交流会】

例年多人数が参集する交流会を２回開催しているが、コロナ禍により今年度は内容変更し、１月２７日に参加者を30名に限定した「お家で出来る水耕栽培」講習会の開催を予定した。しかし、緊急事態宣言が発令されたため中止した。

【研修会】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 開催日 | 研　修　会　名 | 参加者数 |
| １１月９日(木) | センター利用者と職員と合同で消防訓練火災に対する通報、避難誘導、初期消火、ＡＥＤの取り扱いに関する訓練場所：福祉センター　駐車場 | 約60名 |

２．福祉センター利用状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 大広間利用者数 | 娯楽室利用者数 | 老人福祉センター（健康機器） |
| 2,328名 | 3,662名 | 457名 |

　　　　　　※大広間　詩吟・大正琴・健康麻雀・民踊・カラオケ・華道・シニアソロバンのクラブが使用

　　　　　　※娯楽室　囲碁・将棋のクラブが使用

　会議室利用件数

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 小会議室 | 大会議室 | 合計 |
| 午前午後夜間 | 135件　1,824名154件　1,972名30件　　545名 | 138件　 1,865名142件　 3,066名  11件 　297名 | 273件 　3,689名296件　 5,030名 123件 　84名 |
| 合計 | 319件　4,341名 | 291件 　5,228名 | 610件 9,569名 |

　　　　　扇湯シャトルバス運行日数及び利用人数

　　　　　　運行日数　　　　　156日

　　　　　　扇湯行　　　　　　740名

　　　　　　福祉センター行　　693名